

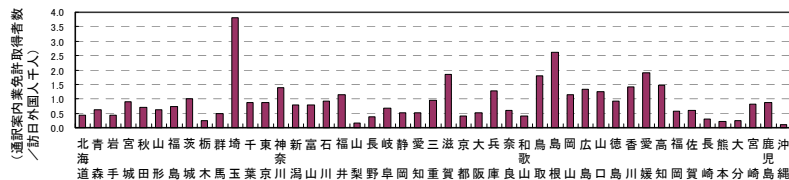
指標：外国人観光客訪問率

外国人の都道府県別訪問率を見ると、1993年以降、上位7都府県は大都市圏中心で変化がみられないが、日本人出国者数と外国人入国者の差をみると、京都府、山梨県、沖縄県等は入国超過であり、三大都市圏、北海道、福岡県等は大きく出国超過の状況。

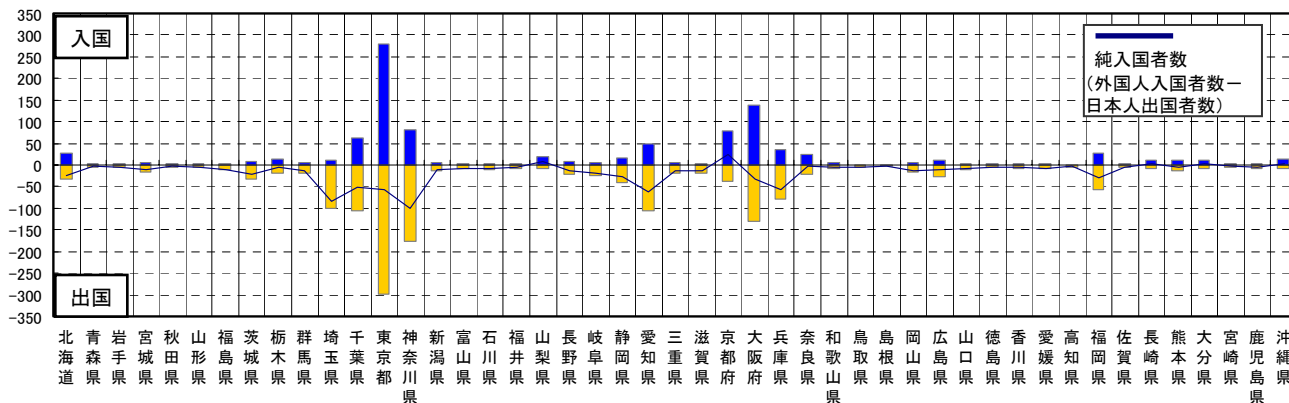
訪日外国人の都道府県別訪問率

順位	1993	(H5)	1998	(H10)	2003	(H15)
1	東京	68.4	東京	60.9	東京	54.5
2	大阪	29.8	大阪	22.6	大阪	27.0
3	京都	25.7	京都	15.7	神奈川	15.8
4	神奈川	15.7	神奈川	15.4	京都	15.2
5	千葉	15.3	千葉	14.8	千葉	12.1
6	福岡	9.5	福岡	10.3	愛知	9.7
7	愛知	8.5	愛知	9.3	兵庫	7.1
8	奈良	6.9	山梨	5.8	福岡	5.2
9	兵庫	6.8	兵庫	5.6	奈良	5.0
10	広島	6.7	長崎	5.6	山梨	3.7

訪日外国人1000人あたりの通訳案内業免許取得者数(2004年までの累積)



日本人出国者数、外国人入国者数、純入国者数(2004年)



- (注) 1. 地域別外国人入国者数は「出入国管理統計」の短期滞在目的の外国人新規入国者数を国際観光振興会「訪日外国人旅行者調査」の都道府県別訪問率で配分。日本人出国者数は「出入国管理統計」の都道府県別日本人出国者数と都道府県別「海外支店等への赴任」、「永住」、「同居」目的の出国者数を総数から差し引いた比率で算出したもの。
2. 訪日外国人の都道府県別訪問率は外国人の日本旅行中の訪問地を調査したもので、複数地を訪問した場合を含むため、都道府県別外国人入国者数の総計は入国者数総計を上回っている。

(出典) 国際観光振興機構「訪日外国人旅行者調査」「通訳案内業(ガイド)試験の合格発表(報道資料)」、法務省「出入国管理統計」、国交省「観光白書」、国交省資料より国土交通省国土計画局作成。